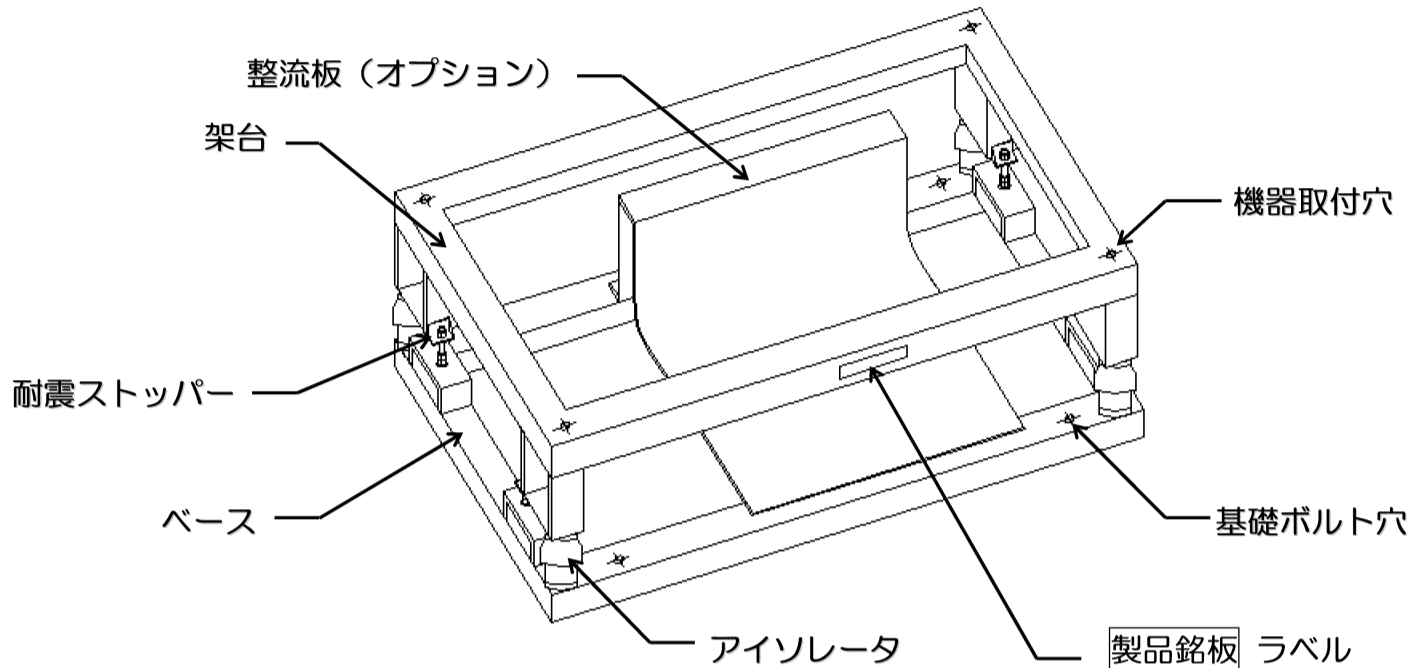


クラシキ 電算機室エアコン防振台 取扱説明書

この度は弊社防振台をご採用いただきましてありがとうございます。
据付工事を行う前に必ずお読みくださり、十分ご理解のうえ正しく施工を行ってくださるようお願い致します。

据付の前に

- 製品銘板ラベル中の品番がご注文の品と一致しているかご確認ください。
- 付属品（ボルト・ナット類）をご確認ください。
- 基礎ボルトは付属しておりません。
お客様にてご用意ください。



1. 防振台及び機器の据付

機器と防振台の取付け方向を確認したうえで防振台を基礎に設置し、防振台ベースを基礎ボルトで仮止めしてください。

このとき基礎及び防振台の水平をご確認ください。
基礎面に凹凸がある場合や水平でない場合は、ライナーにて補正してください。

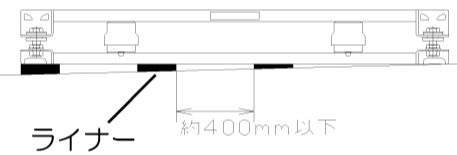
防振台ベースを基礎ボルトにて強固に固定してください。

取付方向に注意しながら機器を搭載し、付属の機器取付けボルトにて仮締めしてください。

機器と架台を機器取付けボルトにて強固に固定してください。

耐震部に挟んでいる枕木を取り外してください。

架台四隅のレベル差が 5mm 以上である場合や耐震ボルトがゴムブッシュと密着し、上耐震ブラケットを圧迫している場合には調整が必要となります。



レベル調整

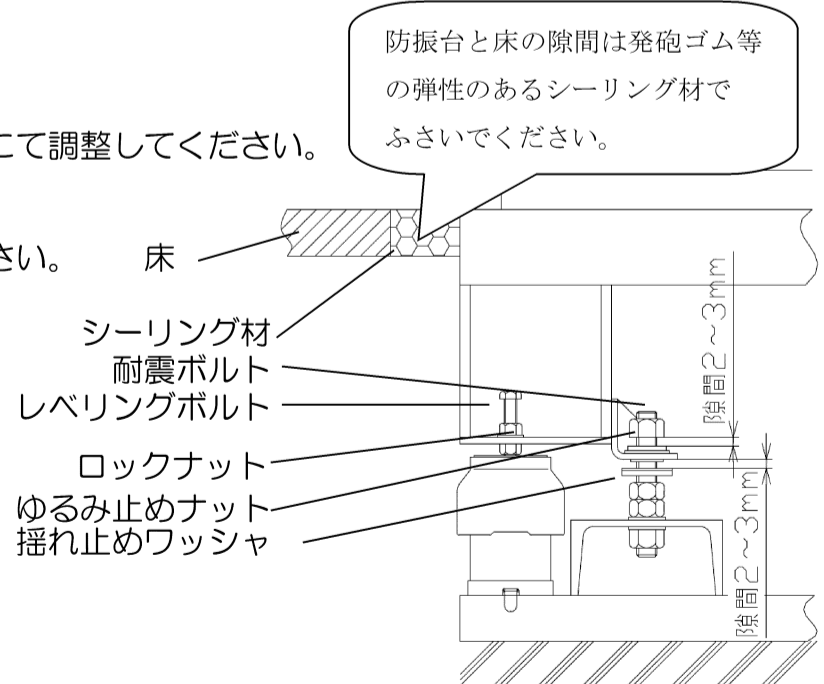
機器取付後、防振台高さレベルをレベルリングボルトにて調整してください。

- (1) ロックナットをゆるめてください。
- (2) レベルリングボルトを回し、レベルを調整してください。
(締めれば高くなり、緩めれば低くなります)
- (3) レベルの調整が出来ましたら、ロックナットをしめてください。

耐震ボルトの調整

耐震ストッパーの緩み止めナットと揺れ止めワッシャが 2~3mm 程度になるように調節して下さい。

耐震ストッパーのナットを締め込んだままにしておきますと期待する防振効果が得られません。



裏面もお読みください

防振台の取扱注意事項

- 整流板の取り扱いには十分ご注意ください。
上に載ったり、フォークリフトで突いたりすると破損する恐れがあります。

配管やダクトとの接続時注意事項

- ダクトを接続する場合、キャンバスダクト等を介して接続してください。
- 配管の接続は、Z曲げやループ配管等にて振動を吸収する施工をしてください。
- 配管やダクトなどの重量は防振台設計には含まれておりません。
また防振台に無理な力が加わらないように十分サポートしてください。
- 溶接作業などの火花が当たらないように対策して作業してください。

ご注意

- ※ 廃棄する場合は本体ゴム部：産業廃棄物、その他：リサイクル鉄材又はリサイクル樹脂材としてください。
- ※ 作業時の安全確保には十分な配慮をお願い致します。
- ※ 予告無く本体の構造等を一部変更することがあります。



倉敷化工株式会社 産業機器事業部

<http://www.kuraka.co.jp/sanki/>

〒712-8555 岡山県倉敷市連島町矢柄四の町4630 TEL(086)465-1715(代)